

豊潤の里

だより

地域を分断しても処分場を造りたいのか !!

～ 産業廃棄物はいらない !! ～

2024年11月、栗本ホールディングス（以下栗本HD）は、処分場建設予定地の地権者に声掛けを行い、西条の料亭で地権者会を開催しました。一昨年の2023年秋にも同会が開かれ、概要などについて、説明があったと聞いております。今回も同様に料亭で食事を共にしながら会合が開催されたようです。

というのも後日、栗本HD社員から欠席した地権者へ資料提供があり、それを見せてもらったからです。処分場建設予定地に当たる地権者の数は、16人か17人。そのうちの5、6人は地元には住んでおられません。この会に何人が出席されたかは分かりませんが、地元在住の地権者7人の方は、「処分場建設反対」の確固たる信念をお持ちの方で、当然出席はされませんでした。

「わしゃあ、(地権者会に)行きゃあせんわい。『二度とくるな』と言うちゃったんよ」

との声をお聞きすると、こちらも元気が出ます。この7人の地権者を木谷地域全体で支えていくこと、このことが処分場建設を阻止することになります。

今回いちばん危惧していることは、栗本HDが「木谷産廃処分場建設推進委員会」を立ち上げたことです。この会は建設賛成の地権者を集めて作られた会で、ことばのとおり木谷に産業廃棄物処分場の建設を進めようとする目的があります。資料には代表1名、副代表2名、幹事2名の名前が列記されています。一人を除いて皆さん地元に住んでおられる地権者の方たちです。栗本HDは、その人たちを処分場建設に向けて地元の最前線に出し、土地取得を進めようとしています。このことは、栗本HDが産廃処分場を巡って、「木谷住民同士の対立の構図」を作り出していることになります。まさに「地域の分断」そのものです。

8年前、栗本HDによる産業廃棄物処分場計画が持ち込まれなければ、助け合いの風土のある、静かな古里であったはずです。今後10年、20年と赤崎地区に新たに産業廃棄物が持ち込まれない未来を祈りつつ、処分場建設阻止に向けてのいまを、広報紙「豊潤の里だより」の中で語り継ぎたいと思っています。



年頭のご挨拶

木谷自治協議会会長 西岡 達郎

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。巳年の「へび」は金運や繁栄をもたらす縁起物として広く知られています。また脱皮をしながら成長することから、「新しく産まれてくる」、「将来・未来がある」といった意味もあります。良いことが続く素敵な一年になりますように願っております。

さて、昨年を振り返って特に心に残ることを述べさせていただきます。それは、7年ぶりに開催することができた西之谷地区の盆踊りです。毎年8月15日、この一年間に亡くなられた方々の「新亡供養」と共に、「盆踊り」を行ってきました。しかし、雨・台風直撃・コロナ警戒の3年間・雨と6年連続で「盆踊り」は中止にせざるを得ませんでした。2月に4年ぶりに行うことができた「神明祭り」と共に、地域を元気にするにはみんながまとまって取り組むことが大切であるということに改めて気づかされた1年でした。そのことは、重松神社の秋の例祭と木谷フェスティバル、実行委員会主催の木谷小学校150周年記念行事などにもそのまま当てはまります。少子高齢化がますます顕著になる中、木谷地域のさらなる強いまとまり、団結を期待してやみません。

昨年末より気になる出来事も続いています。ニュースで毎日のように報道されている「火災」です。皆さんにもしっかりと注意していただきたいその原因ですが・・・。

「ついうっかり」・・・財産はもちろん命まで失ってしまうかもしれません!!

- ・寝たばこをしていて、そのまま寝込んだ。
- ・ストーブの近くやこたつの中で洗濯物を干したり乾かししたりしていた。
- ・台所のコンロに、やかんや鍋をかけっぱなしにして火を消すのを忘れた。
- ・仏壇のローソクの火や、線香の火をそのままにしていた。
- ・ストーブをつけたまま、長時間家を留守にした。
- ・コンセント周りがタコ足配線になっている。

等々

私も新年早々「ついうっかり」のミスをしてしまいました。

- ・室内灯の消し忘れによる自動車のバッテリーあがり。
- ・スーパーマーケットのワゴンにスマホを入れたバックの置き忘れ。

どちらも無事に解決しましたが、「ついうっかり」には皆様もお気を付けください。

みんなで一緒に
頑張ろうや



最新技術が間近で ～トンネル工事見学会～



11月23日、現在建設中の安芸津バイパスで、木谷トンネル（仮称）の工事現場見学会が開催され、地元関係者や小・中学生とその保護者の計81名が参加しました。

参加者は東急建設㈱の担当者から工事の概要の説明を受けた後、工事中のトンネルの最先端部まで進みました。そこでは大型重機のホイールジャンボを実際に動かすようすが間近で見学できました。この機械は、岩盤に発破

を仕掛けるための孔を開けるときや、トンネルを堅固にするため壁に長い棒を打ち込むときに活躍します。

トンネルの全長は295m。工事は昼夜兼行で行われており、今年1月末に貫通したのち壁を仕上げます。その後、別の専門業者が路面の舗装や照明設備などの工事を済ませるとトンネルが完成します。

部会活動紹介

福祉生活部会



12/11 木谷小の校内持久走大会を豚汁と声援で支援

保育所の園児や保護者・地域の人たちの応援を受けながら子どもたちは一生懸命走りました。そのあとの楽しみは豚汁。豚肉や地元でとれたジャガイモやサツマイモ、大根などの野菜を大鍋で煮込んで作りました。子どもたちからのお礼の手紙には、美味しかった豚汁と大きな声援への感謝の言葉がつづられていました。＜木谷地区社協 蛟龍＞



12/19 木谷保育所で「おたのしみかい」

クリスマスの日より少し早く、サンタとトナカイが木谷保育所を訪問しました。「あわてんぼうのサンタクロース」の曲に合わせて園児たちの前に現れ、プレゼントを渡したあと一緒に遊戯に楽しみました。

＜木谷地区社協 蛟龍＞

防災安全部会

災害時に役立つ備品の一覧表（木谷自治協議会・防災安全部が管理する主な備品）

備品名	西之谷防災倉庫	赤崎防災倉庫	郷防災倉庫	地域センター
リヤカー	1	1	1	非常食（230）
担架	1	1	1	非常用飲料水（72）
つるはし	3	1	1	100ℓ携行缶
かけや	3	1	1	発電機
ハンマー	3	1	1	テント（4）
斧	3	1	1	毛布（13）
バール	8	1	1	エアーマット（2）
角スコップ	16	2	2	段ボールベッド
ナタ	3	1	1	大型扇風機（2）
ハロゲンライト	2	3	3	作業灯（5）
トラロープ（100m）	5	1	1	マスク（100）
ブルーシート	15	5	5	ゴム手袋（100）
木杭	18	10	10	体温計
その他	100ℓ携行缶	100ℓ携行缶		嘔吐物処理セット
	発電機	発電機		簡易トイレ
	二連はしご			
	スコップ（11）			
	ノコギリ（2）			
	レスキュー用品			
	土のう袋（400）			

2025.01.17 現在

地域センター 主催講座

ミニ門松手作り講座



12/24 自作の門松を飾って新年を迎えようと、7名が竹細工同好会（代表：水野哲朗さん）の指導を受けながら、ミニ門松づくりに挑戦しました。松・竹・梅・南天を好みの寸法にととのえ、思い思いに組み合わせていきました。努力が実を結び、市販品とは一味違う納得の門松ができました。

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口	男	女
令和 6 年(2024) 12 月末現在	664	1391	676	715
令和 5 年(2023) 12 月末との比較	-21	-32	-21	-11